

## 女子選手権リレー2走

伊佐野はる香

自分がリレーを走る時、勝つために必要なことは、自分で自分を制御できる程度には平常心で、且つ、怠けて走り負けな程度には緊張感を持ち記録を意識していることでした。結果的に、それが出来たからこのような結果が出せたのではないかと思います。支えてくれた多くの方々にはいくら感謝しても足りないくらいです。

正直、リレーに向けてしたことと言えば、最低限の走り込みと、地図読み・予想コース組み、大会前のレースでミス減らすことを最重視したオリエンをすることくらいでした。今から思えば、ミス減らすことに集中したことで以前と比較して相対的成績は上がり、自分の中で一番いいオリエンスタイルの感覚を掴めたと思います。また、逆に失敗する時の感覚も掴めてきて、おかげで自分をコントロールするイメージをぼんやりとでも作れるようになったのも、レース中で生きていたと思います。そして、実を言うとリレー前日のミドルレースで失敗する感覚を無視してオリエンした結果見事に失敗した経験が、更にリレー中の心境にうまく働いたのではないかと考えています。

走り終わった後、まず無事に帰って来られたことに安心しました。結果を知っても喜ぶより驚愕が勝り、結局実感は湧かないままでした。そして、出迎えてくれた四年生の先輩方がものすごく喜んでくれたことが大変心に残っています。また、同期も正直自分より嬉しそうにしてくれてびっくりしました。一方、一番お世話になった先輩が私と一緒に驚いていてなんとなくほっとした覚えがあります。

今回の女子選手権リレーは、おそらく誰にとっても予想外な結果になったのではないのでしょうか。新しく事を成すより持続させる方が難しい、というような故事があった気がします。一度の優勝に胡坐をかかず、今後も更に速く走れるように精進します。

さて、インカレミドル・リレーから気持ちを切り替え、天候に恵まれなかった新歓も無事に終了し、今年度は総勢30名(内5名女子)の新入部員を迎えることができました。今はロングに向けて、各自の目標を達成すべく個人のペースで励んでいます。

ところでこの記事は、東大大会の翌日(締切当日です。しかも夜中です。橋場さんすみません)に書いているのですが、昨日の東大大会でインカレロング選手権の部出場権を手に入れることができました。レース終了時点で反省点ばかり浮かび、北東インカレでの熾烈な拮据を思っただけの戦いを覚悟していた時に飛び込んできた話だったので再び驚きに固まることになりました。折角勝ち取った最高の舞台上で最高のパフォーマンスをするため、これから頑張っていきます。

最後になりましたが、青葉会報でこのような場を設けていただきありがとうございます。今後とも東北大オリエンテリング部を応援して頂けたら幸いです。